

KSP-G02用DIN端子形ドライバ



特長

- ダイレクト形電磁比例切換弁KSP-G02を最適に制御します。
- 定電流特性により、電源電圧の変動やソレノイド温度上昇等による出力電流の変動がほとんどありません。
- 出力電流波形(ディザ周波数、振幅)は、電磁比例制御弁のヒステリシスや分解能が最も良好になる様に設定されています。
- 電流は、PWM(パルス幅変調)方式で制御されていますので、ドライバの発熱は最小限におさえられます。
- ステップ状の指令入力の変化に対して出力電流の変化を緩やかに行う機能(応答時間調整機能)を有していますので、油圧出力をショックレスに変化させることができます。

形式記号説明

ZDN — 2 — 10 — ※
1 2 3

- 1 基本形式
ZDN-2: KSP-G02用DIN端子形ドライバ
- 2 デザイン番号(デザイン番号は変更することがあります。)
- 3 ケース色
A: 灰色
B: 黒色

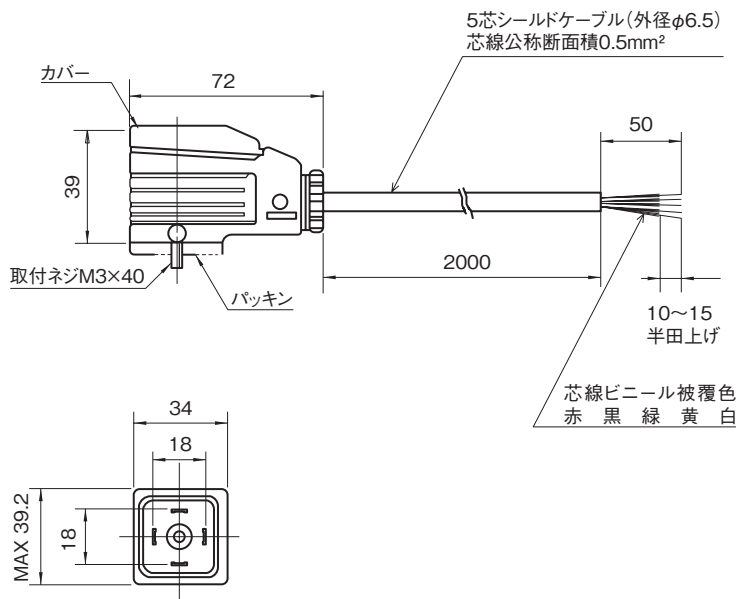
仕様

電源電圧	DC24V(容量1.2A以上)
許容電圧変動	-20~+20%
適用負荷	比例ソレノイド(DC12V)
指令入力	DC0~5V
出力電流	0~1400mA
消費電力	最大22VA
ディザ	出荷時に調整済
応答時間調整範囲	0.1~1.5秒(最大出力時)
使用周囲温度	-10~50°C
使用周囲湿度	10~90%RH
耐振性	6.8G(66.6m/s ²) 周波数:11.7~200Hz 1周期:15分 3方向:各2h
質量	0.3kg

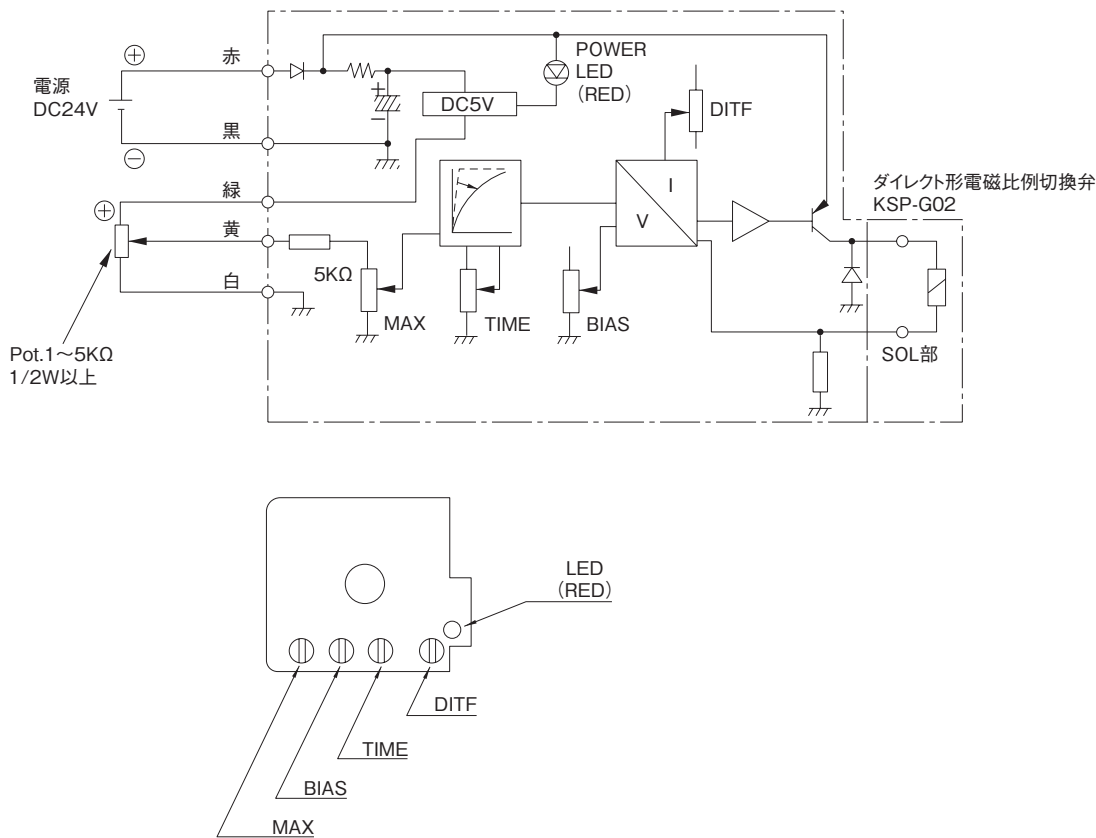
取扱い

- DITFトリマは、設定済みのため、さわらないでください。
- 本ドライバをKSP弁に取り付ける時、取付ねじ(M3×40)の締付トルクは、0.5~0.6N・m{5~6kgf・cm}としてください。
- 過渡期の応答時間を調整するTIMEトリマは、立ち上がり、立ち下がり両方に作用します。
(各々独立して調整することはできません。)

外形寸法図



回路構成図



調整トリマ位置

カバーを外して上面から見た図(実装ボード表面)